

事務事業名	認知症高齢者見守り(学習会)事業				会計	介護保険				
					事業種別	政策	開始	12	終了	
課等名	介護高齢課		係等名	基幹包括支援センター						
基本計画上の位置づけ	政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり							
	施策	35	高齢者福祉の推進							

目的	対象(誰・何を)	市民				指標名及び単位		24年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	認知症高齢者への理解を深める				対象指標	学習会対象者(認知症高齢者を除く10歳以上80歳未満の市民)数		84500
	向上させたい上位施策の成果指標	安心して暮らせる高齢者の割合							

目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	学習会参加者の累計/対象者数×100 %			2	2	2		
	定性目標								

事業概要
 認知症に対する家族、地域住民の偏見や無理解の解消を図るため、講演会や学習会を開催して啓発活動を行い、認知症となっても住み慣れた地域で「自分らしい暮らし」ができるよう支援する体制づくりをめざす。

24年度事業内容	事業内容		名称		活動指標	
	認知症の知識・理解を深めるための講演会や学習会を開催する。 1 認知症講演会 2 学習会(認知症サポーター養成講座含む) 3 キャラバンメイトの研修会		1 講演会参加者数 2 学習会回数・参加者数 3 研修会参加者数		1 187人 2 52回・1438人 3 27人	

事業コスト	23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足
事業費計(千円)①	132	370	231	335	地域支援事業交付金の任意事業 国39.5% 県19.75% 市19.75% 1号保険料21%
国庫支出金	53	148	91	132	
県支出金	27	74	46	66	
起債					
その他					
一般財源	52	148	94	137	
人件費計(千円)②	569		565		
正規職員所要時間	120		110		
臨時職員所要時間	130		160		
総事業費①+②	701	370	796	335	

事業内容・目標達成状況の振り返り
 講演会は会場が満席となり、盛況であった。内容についても、分かり易く具体的で好評であった。同じ講師を再度招きたいとの打診が他の機関からあり、好評さが伺えた。認知症サポーター養成講座については、講師であるメイトの活動の幅が広がらず、サポーター数も横ばい状態で次年度の課題となる。

改革改善の考え方
 ①問題点 同日に講演会が重なり、調整が難しかったと民生委員等から次年度配慮するようお願いされた。キャラバン活動については、横ばい状態であり、次年度の課題である。
 ②改革提案 早い時期から事業者や保健師、民生委員等に日程の連絡を入れ、講演会の重なりを防ぐ。講師については、早い時期から決まっており、平成25年度も市民の方々に喜んでもらえると思われる。キャラバンメイトの活動強化等を進め、サポーター活動